

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	無期限（設定日：2021年4月27日）	
運用方針	日々の基準価額の値動きがFactSet ATMX+指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. FactSet ATMX+指数（配当込み）の2倍の値動きを享受する債券（円建） ロ. 香港の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. 中国（香港を含みます。）の株価指数に連動するETF（上場投資信託証券）およびETN（上場投資証券） ニ. 中国（香港を含みます。）の株価指数先物取引 ホ. わが国の債券 ヘ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

iFree レバレッジ ATMX+

運用報告書(全体版) 第3期

(決算日 2024年4月26日)

(作成対象期間 2023年4月27日～2024年4月26日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日々の基準価額の値動きがFactSet ATMX+指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	公社債 組入比率	投資証券 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率						
	円	円	%		%	%	%	%	%	%	百万円
1 期末 (2022年 4月26日)	1,674	0	△ 83.3	4,847	△ 51.5	—	—	99.2	—	—	255
2 期末 (2023年 4月26日)	1,013	0	△ 39.5	4,400	△ 9.2	—	—	99.4	—	—	439
3 期末 (2024年 4月26日)	907	0	△ 10.5	4,637	5.4	—	—	99.4	—	—	601

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「FactSet ATMX+指数 (配当込み、香港ドルベース)」から「FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース)」に変更しました。

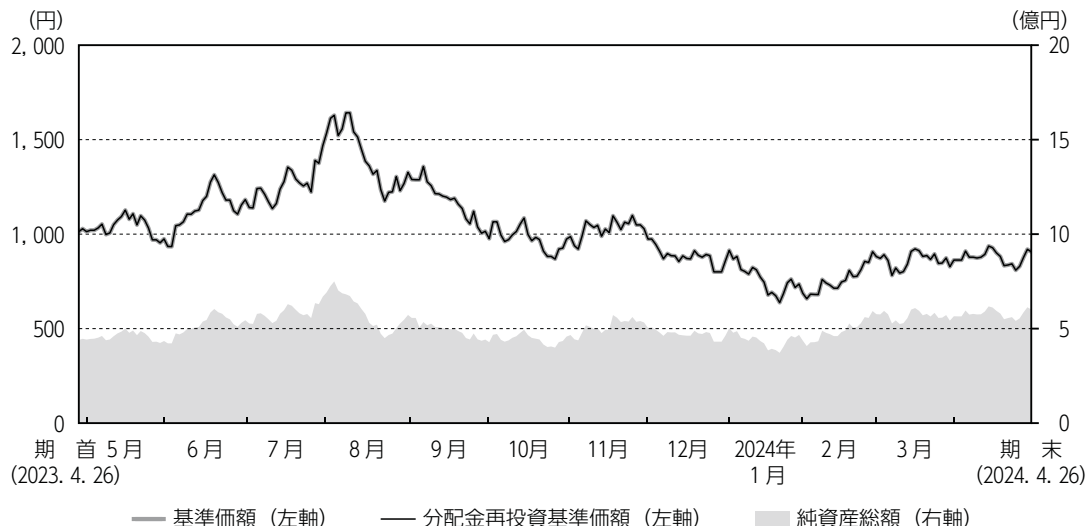
FactSet は、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。また、その中に含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSet は、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSet は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。これに限定されず、FactSet は、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害 (逸失利益を含む) に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：1,013円

期末：907円（分配金0円）

騰落率：△10.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX + 指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざした運用を行った結果、中国テクノロジー株式市況が上昇しましたが、対象指数が上昇・下落を繰り返して推移したことや、コスト負担に伴い、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

iFree レバレッジ ATMX+

年 月 日	基 準 価 額		FactSet ATMX+指数 (税引後配当込み、香港ドルベース)		株式組入 比 率	株式先物 比 率	公 社 債 組入比率	投資証券 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率					
(期 首) 2023年4月26日	円 1,013	% —	4,400	% —	% —	% —	% 99.4	% —	% —
4月末	1,013	0.0	4,399	△ 0.0	—	—	99.8	—	—
5月末	975	△ 3.8	4,351	△ 1.1	—	—	101.1	—	—
6月末	1,141	12.6	4,773	8.5	—	—	99.5	—	—
7月末	1,534	51.4	5,598	27.2	—	—	99.6	—	—
8月末	1,289	27.2	5,191	18.0	—	—	99.9	—	—
9月末	976	△ 3.7	4,564	3.7	—	—	99.8	—	—
10月末	987	△ 2.6	4,621	5.0	—	—	100.0	—	—
11月末	974	△ 3.8	4,597	4.5	—	—	100.3	—	—
12月末	914	△ 9.8	4,489	2.0	—	—	100.0	—	—
2024年1月末	687	△ 32.2	3,949	△ 10.3	—	—	97.3	—	—
2月末	881	△ 13.0	4,503	2.3	—	—	100.4	—	—
3月末	863	△ 14.8	4,497	2.2	—	—	99.8	—	—
(期 末) 2024年4月26日	907	△ 10.5	4,637	5.4	—	—	99.4	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023. 4. 27 ~ 2024. 4. 26)

中国テクノロジー株式市況

中国テクノロジー株式市況は上昇しました。

中国テクノロジー株式市況は、当作成期首より、欧米金融機関の信用不安を受けた投資家心理の悪化を背景に一時的に下落しましたが、米国当局が必要に応じて支援を拡充する構えを示したことを受け、金融システムへの警戒感が後退する中、反発しました。2023年8月以降は、米国長期金利の上昇を受けたハイテク株安や中国不動産の信用不安問題の再燃、中国の7月鉱工業生産や小売売上高など主要経済指標が軟調であったこと、中国恒大集団の経営再建を巡り不透明感が高まったことなどを背景に、下落しました。11月には、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ見送りによる追加利上げ警戒感の後退や、約1年ぶりに実施された米中首脳会談による地政学リスクの後退などを背景に上昇しましたが、その後は中国の不動産企業への無担保融資の解禁報道を背景に銀行の信用リスクが高まり、中国経済に対する不透明感から上値の重い展開となりました。2024年1月には、中国の低調な製造業PMI（購買担当者景気指数）を受けた景気減速懸念の高まりや、米国における早期利下げ期待の後退、中国人民銀行のMLF（中期貸出制度）金利据え置きなどを受けて、下落しました。2月以降は、政府系ファンドのETF（上場投資信託証券）の買い増し発表や空売り規制などの中国当局の株価対策、春節休暇中の観光・娯楽などへの好調な需要を受け、上昇して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの運用方針に基づき、主にパフォーマンス連動債券（※）を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きがFactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※ボルト・インベストメンツ・ピーエルシーが発行する債券（円建）

ポートフォリオについて

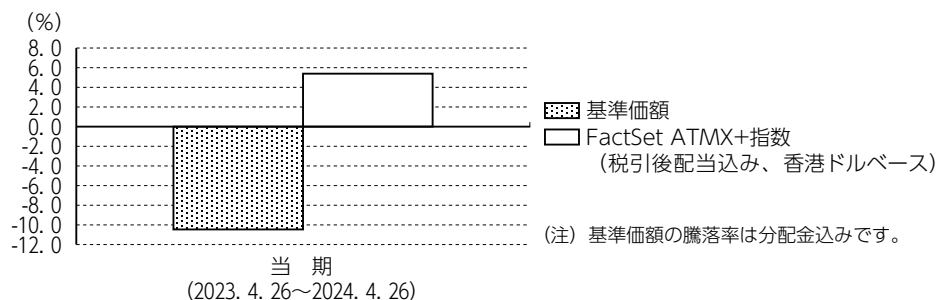
(2023. 4. 27 ~ 2024. 4. 26)

パフォーマンス連動債券への投資割合を高位に維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、信託財産の成長に資することを目的に、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2023年 4 月27日 ～2024年 4 月26日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

当ファンドの運用方針に基づき、主にパフォーマンス連動債券を高位に組み入れることにより、日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX + 指数（配当込み、香港ドルベース）の値動きの2倍程度となることをめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 4. 27~2024. 4. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	11円	1.032%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,019円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.533)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(5)	(0.478)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.022)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.170	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.161)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	12	1.202	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

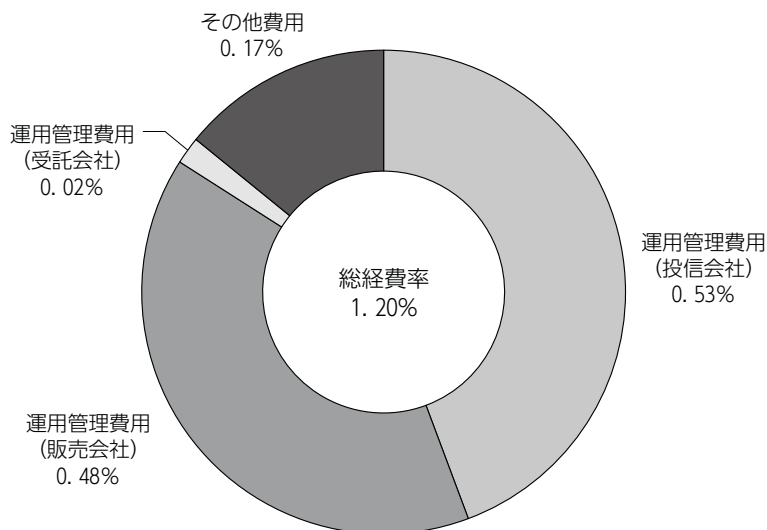
(注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.20%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかります。
純資産総額に対して年率0.19%（税込）程度、その他各種費用等

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年4月27日から2024年4月26日まで)

		買付額	売付額
国内	社債券	千円 532,325	千円 360,494 ()

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年4月27日から2024年4月26日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
Vault Investments PLC 2026/3/31 (ユーロ円債)	532,325	Vault Investments PLC 2026/3/31 (ユーロ円債)	360,494

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)国内(邦貨建)公社債(種類別)

作成期 区 分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入 比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
普通社債券	6,312,000	597,746	99.4	—	—	—	99.4

- (注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

区 分	当 期		末		
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
普通社債券	Vault Investments PLC	—	6,312,000	597,746	2026/03/31

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年4月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	597,746	98.0
コール・ローン等、その他	12,120	2.0
投資信託財産総額	609,867	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年4月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	609,867,308円
コール・ローン等	6,408,892
公社債(評価額)	597,746,400
未収入金	5,325,940
その他未収収益	386,076
(B) 負債	8,291,017
未払解約金	5,645,298
未払信託報酬	2,624,859
その他未払費用	20,860
(C) 純資産総額 (A - B)	601,576,291
元本	6,630,791,532
次期繰越損益金	△ 6,029,215,241
(D) 受益権総口数	6,630,791,532□
1万口当り基準価額 (C / D)	907円

* 期首における元本額は4,342,095,311円、当作成期間中における追加設定元本額は8,642,411,751円、同解約元本額は6,353,715,530円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は907円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,029,215,241円です。

■損益の状況

当期 自2023年4月27日 至2024年4月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	135,731円
受取利息	496
その他収益金	138,634
支払利息	△ 3,399
(B) 有価証券売買損益	32,012,997
売買益	127,839,373
売買損	△ 159,852,370
(C) 信託報酬等	6,176,569
△	△
(D) 当期損益金 (A + B + C)	38,053,835
△	△
(E) 前期繰越損益金	63,462,316
△	△
(F) 追加信託差損益金	5,927,699,090
(配当等相当額)	(1,586,340)
(売買損益相当額)	(△ 5,929,285,430)
(G) 合計 (D + E + F)	6,029,215,241
△	△
次期繰越損益金 (G)	6,029,215,241
△	△
追加信託差損益金	5,927,699,090
(配当等相当額)	(1,586,340)
(売買損益相当額)	(△ 5,929,285,430)
繰越損益金	△ 101,516,151

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,586,340
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,586,340
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,586,340
(h) 受益権総口数	6,630,791,532□

《お知らせ》

■参考指数の変更について

参考指数としている株価指数を、以下の通り配当を含む株価指数に変更しました。

変更前：FactSet ATMX+ 指数 (香港ドルベース)

変更後：FactSet ATMX+ 指数 (配当込み、香港ドルベース)

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

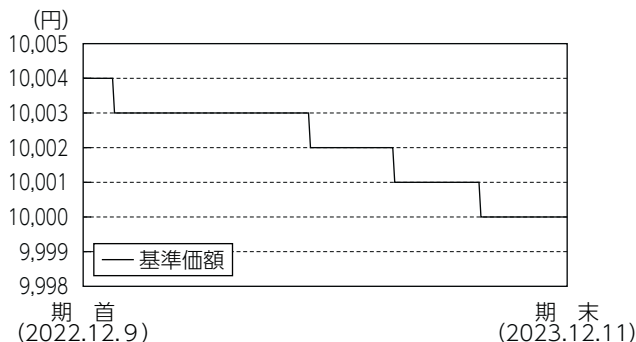
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
	10,004	-	-
12月末	10,004	0.0	-
2023年1月末	10,003	△0.0	-
2月末	10,003	△0.0	-
3月末	10,003	△0.0	-
4月末	10,003	△0.0	-
5月末	10,003	△0.0	-
6月末	10,002	△0.0	-
7月末	10,002	△0.0	-
8月末	10,001	△0.0	-
9月末	10,001	△0.0	-
10月末	10,000	△0.0	-
11月末	10,000	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,000	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,004円 期末：10,000円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和政策を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	224,869,425	100.0
投資信託財産総額	224,869,425	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	224,869,425,628円
コール・ローン等	224,869,425,628
(B) 負債	1,500,000,000
未払解約金	1,500,000,000
(C) 純資産総額(A－B)	223,369,425,628
元本	223,366,515,143
次期繰越損益金	2,910,485
(D) 受益権総口数	223,366,515,143口
1万口当り基準価額(C/D)	10,000円

*期首における元本額は159,095,941,234円、当作成期間中における追加設定元本額は314,669,316,126円、同解約元本額は250,398,742,217円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド	－ロボテック	947,268円	
ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド	－インドの匠	29,910,270円	
ワールド・フィンテック革命ファンド	(為替ヘッジあり)	998円	
ワールド・フィンテック革命ファンド	(為替ヘッジなし)	998円	
US短期ハイ・イールド社債ファンド	(為替ヘッジあり/毎月決算型)	102,434円	
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	－ロボテック	(為替ヘッジあり)	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	(年1回決算型)	3,985円	
－ロボテック(年1回)	－(為替ヘッジあり)		
iFreeレバレッジ S&P500		8,578,400,572円	
iFreeレバレッジ NASDAQ100		136,597,495,537円	
グリーンテック株式ファンド	(資産成長型)	998,802円	
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	－ロボテック(毎月決算/予想分配金提示型)	999円	
世界インフラ戦略ファンド	(為替ヘッジなし/資産成長型)	499,501円	
iFreeETF 日経平均レバレッジ・インデックス		3,766,275,979円	
iFreeETF 日経平均ダブルインバース・インデックス		7,383,524,817円	
iFreeETF TOPIXレバレッジ(2倍)指数		1,207,970,593円	
iFreeETF TOPIXダブルインバース(－2倍)指数		926,253,680円	
iFreeETF 日経平均インバース・インデックス		8,758,653,432円	
iFreeETF TOPIXインバース(－1倍)指数		11,471,375,420円	
iFreeETF JPX日経400レバレッジ・インデックス		788,263,236円	
iFreeETF JPX日経400インバース・インデックス		114,002,117円	
iFreeETF JPX日経400ダブルインバース・インデックス		78,926,070円	
iFreeETF S&P500レバレッジ		556,085,029円	
iFreeETF S&P500インバース		2,883,612,458円	
先進国トータルリターン戦略ファンド	(リスクリーズ型/適格機関投資家専用)	207,414,601円	
ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ	－SLトレード	4,992,083円	
ブルベア・マネー・ポートフォリオ6		25,460,730,955円	
ブル3倍日本株ポートフォリオ6		11,487,636,953円	
ベア2倍日本株ポートフォリオ6		3,017,601,716円	
ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ		44,637,919円	
ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド	(為替ヘッジあり/年1回決算型)	9,957円	
ダイワ米国バンクローン・オープン	(為替ヘッジあり)	997円	
ダイワ米国バンクローン・オープン	(為替ヘッジなし)	997円	
ダイワ/ミレニアセット亜細亜株式ファンド		4,148円	
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α	(毎月分配型)米ドル・コース	10,833円	
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α	(毎月分配型)ブラジル・リアル・コース	10,788円	
通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α	(毎月分配型)通貨セレクト・コース	12,751円	
ロボット・テクノロジー関連株ファンド	(年1回決算型)－ロボテック(年1回)	100,588円	
ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド		5,813円	

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△69,335,817円
支払利息	△69,335,817
(B) 当期損益金(A)	△69,335,817
(C) 前期繰越損益金	62,057,963
(D) 解約差損益金	△51,876,027
(E) 追加信託差損益金	62,064,366
(F) 合計(B+C+D+E)	2,910,485
次期繰越損益金(F)	2,910,485

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。